

Snorkel高所作業車

S3215L

月例検査要領書



はじめに

- ・高所作業車を事前に満充電にしておく。また充電器で満充電を確認したうえで電源ケーブルを抜く事
- ・検査前に以下のものをあらかじめご用意ください
 - ・テスター
 - ・比重計
 - ・複数サイズのレンチセット(モンキレンチでも可)
 - ・グリス、CRC等の潤滑浸透剤
 - ・安全支柱としての使用に適した角材等
 - ・パーツクリーナー、ウエス
 - ・ウエイトまたはそれに類する重り
 - ・その他バッテリー液など必要に応じてご用意ください
- ・取説書/サービスマニュアルを確認しながら作業にあたってください

作業準備

①車体・車軸



車体や前後のフック、溶接個所に亀裂や割れが無いか確認。

車体および走行装置

②タイヤ



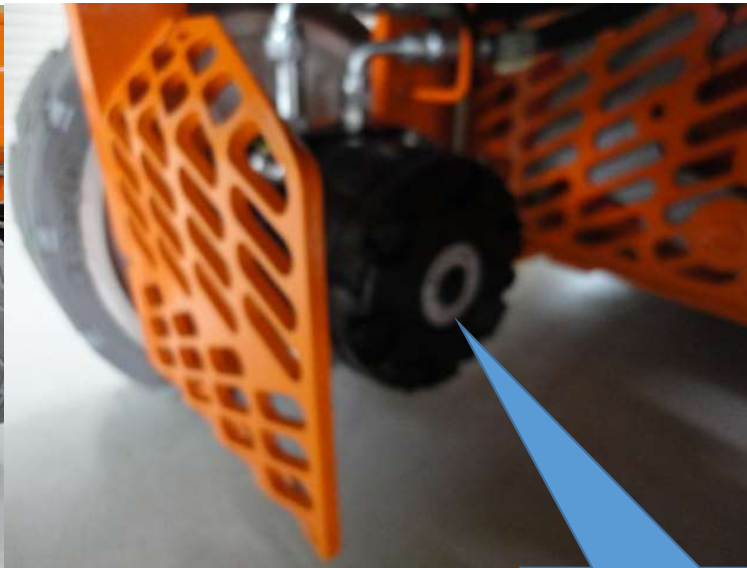
前後のタイヤに亀裂や摩耗、
取付ボルトおよびナットに緩みがないか確認。

車体および走行装置

③油圧モーター



前輪内側、カバーの裏にあります



ホースの取付配管やモーター本体から漏れ等がないか

油の漏れやボルトおよびナットの緩み、汚れや錆がないか。

車体および走行装置

④ 走行装置



リンク曲がりや破損、ピン摩耗等がないか。

⑤かじ取り装置



フロントシャーシの裏側に
シリンダがあります



シリンダから漏れが無いか

ホース配管やホースから漏
れが無いか

シリンダの油漏れ、ピン摩耗、給油。

車体および走行装置

⑥ブレーキ解除



ハンドポンプ

・ブレーキ解除が正しくどうか取説に従って操作確認。



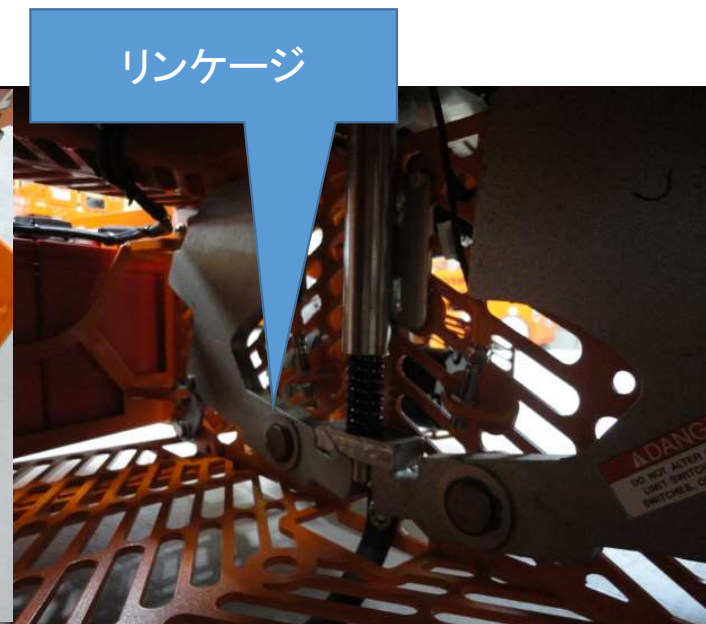
ブレーキを解除する際は平坦な傾斜の無い場所で行う事。

タイヤに歯止めをかける等、逸走防止措置を講じる事。

作動、バルブおよびハンドポンプの状態確認。

車体および走行装置

⑦ポットホールプロテクタ



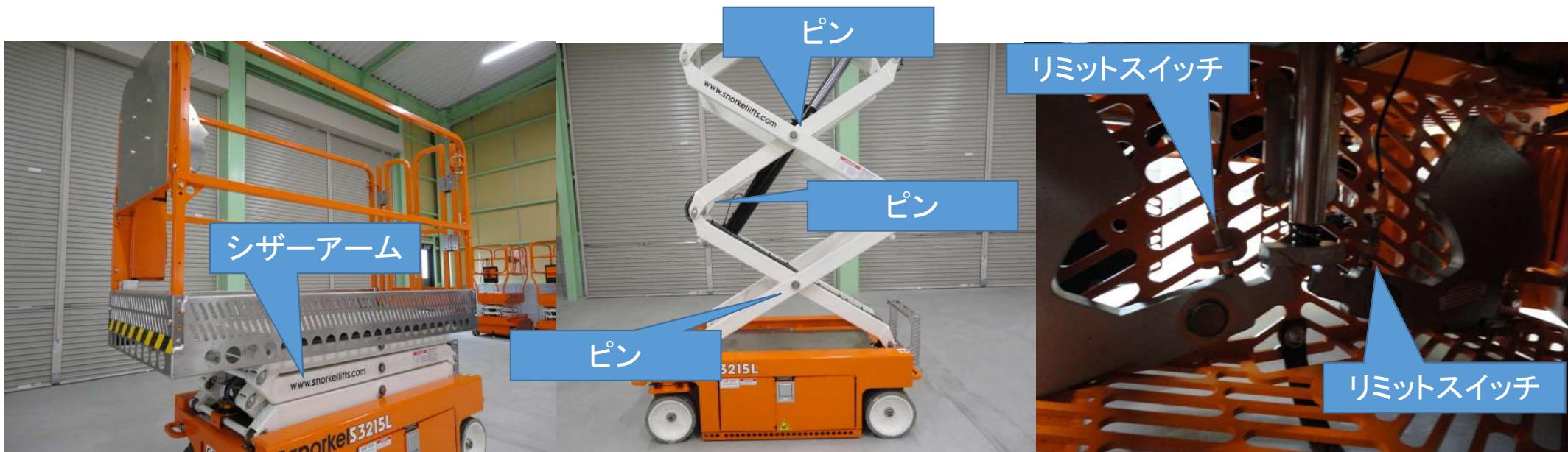
リフトを上昇させ
ポットホールプロテクタを
動作させる

サイドのメンテナンスハッチを開け
車体内部のリンケージを確認する
(車体内部前方にあります)

リンケージに異常がないか確認する

車体および走行装置

⑧シザーリフト



変形、溶接破損、ピン摩耗
ボルトおよびナット緩み、ローラー摩耗。

リミットスイッチ2つに
損傷がないか。

⑨ シリンダ

シリンダ本体からの油漏れ



シリンダの取付

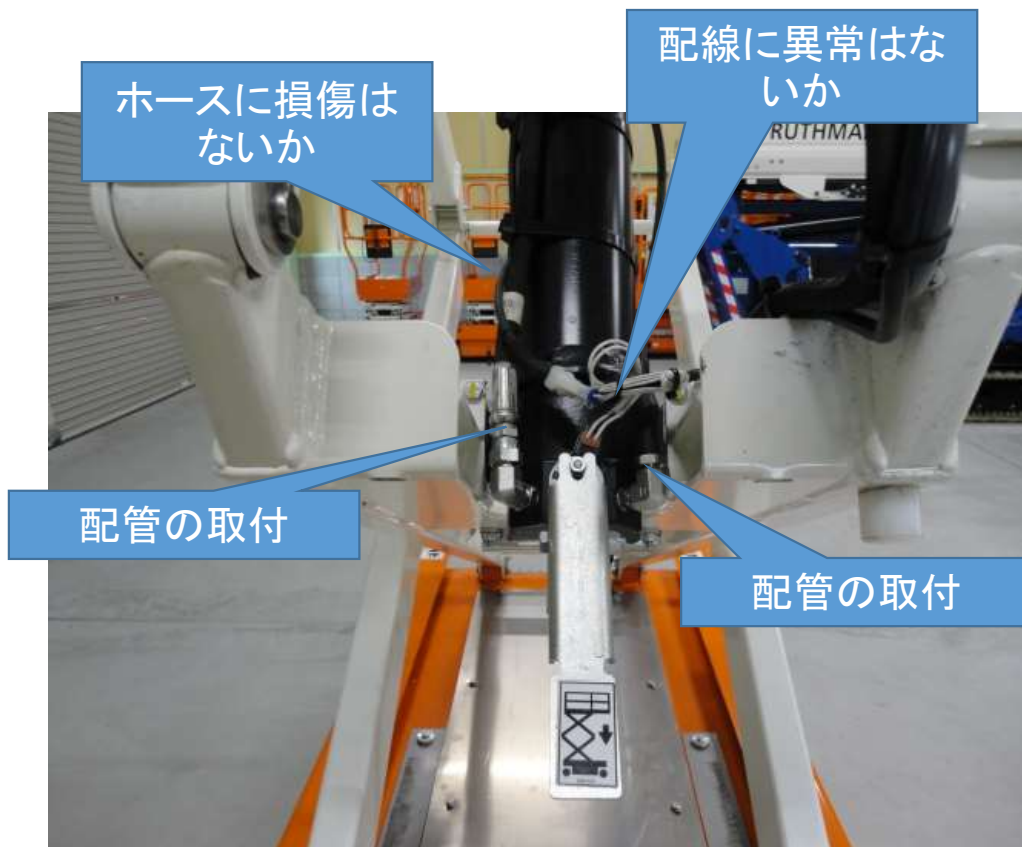
リンクピン止め輪

- ・シリンダの取り付け状態の確認。
- ・リングピン留め輪の確認。
- ・シリンダからの油漏れはないか。



作業床を上昇させて点検を行う場合
万が一に備え安全支柱を使用し
挟まれ事故を防止する事。

⑩配線、配管



- ・配線、配管、ホースに油漏れ損傷等、異常はないか。



作業床を上昇させて点検を行う場合
万一に備え安全支柱を使用し
挟まれ事故を防止する事。

⑪ フレーム



作業床フレームに変形
溶接部の亀裂はないか。



昇降装置は適切に
取り付けられているか。
ガタ等ないか。

⑫手摺り



各部ボルトナット

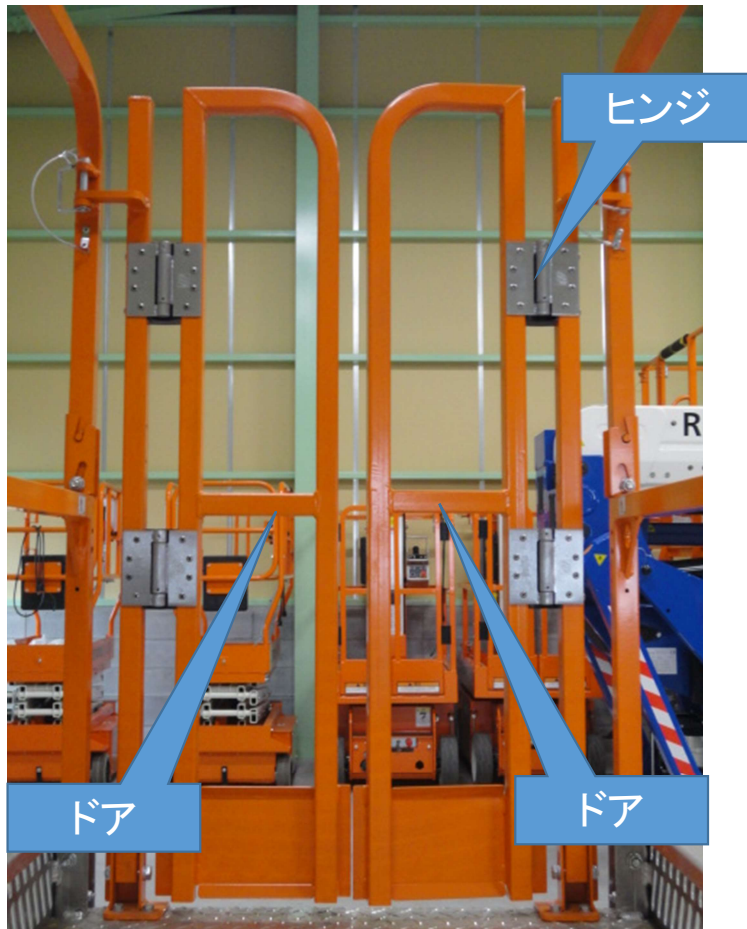
中棧

幅木

- ・手摺に変形、破損はないか。
- ・ボルトナット緩みはないか。
- ・中棧および幅木の破損変形はないか。

作業床

⑬ 出入口



- ・ドアに変形破損はないか。
- ・ヒンジに変形破損はないか。
確実に取り付けられているか。

⑭ステップ・昇降設備



変形や損傷、ボルトおよびナットの緩み等はないか。

⑮メインデッキ



- ・メインデッキ作業床に腐食、錆、破損はないか。

⑩ バッテリー



- ・バッテリー液量は適切か。
 - ・バッテリー比重は適切か。
 - ・端子緩み、腐食、変形はないか。
- ※左右合計4個とも確認する事

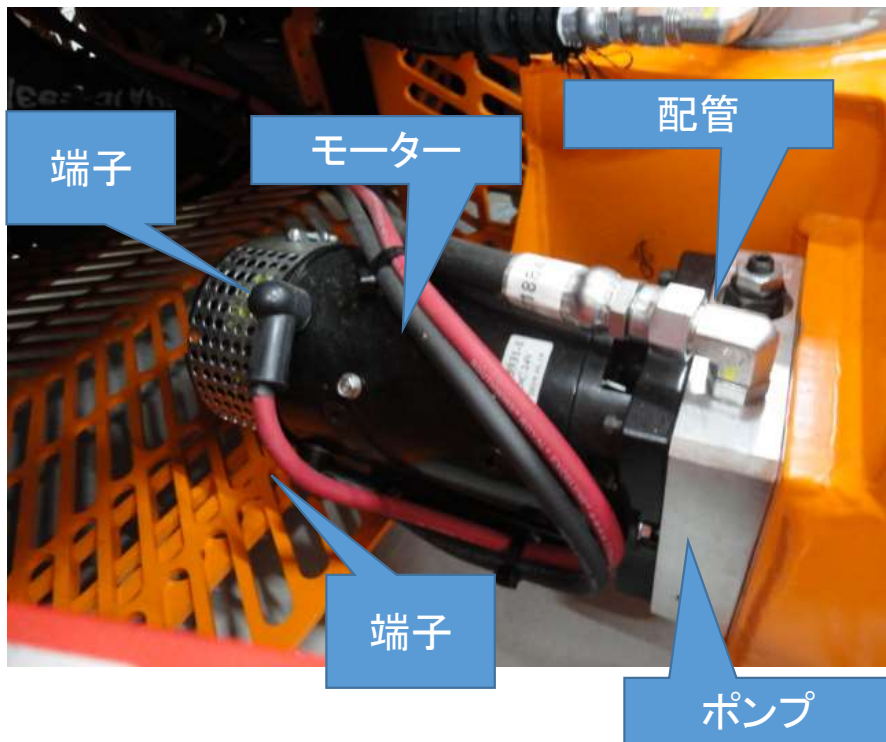


バッテリーに入っているバッテリー液には希硫酸が含まれるため、身体に触れた場合はすぐに洗い流すこと。



比重は満充電で1.27～1.28を目安とする。

⑪ 直流モーター ⑫ 油圧ポンプ



- ・モーターの汚れ、端子緩みはないか。
- ・ポンプの配管緩み、油漏れはないか。
- ・モーターとポンプのつなぎ目、ポンプとタンクのつなぎ目から漏れはないか。

メンテナンスハッチ内にある。

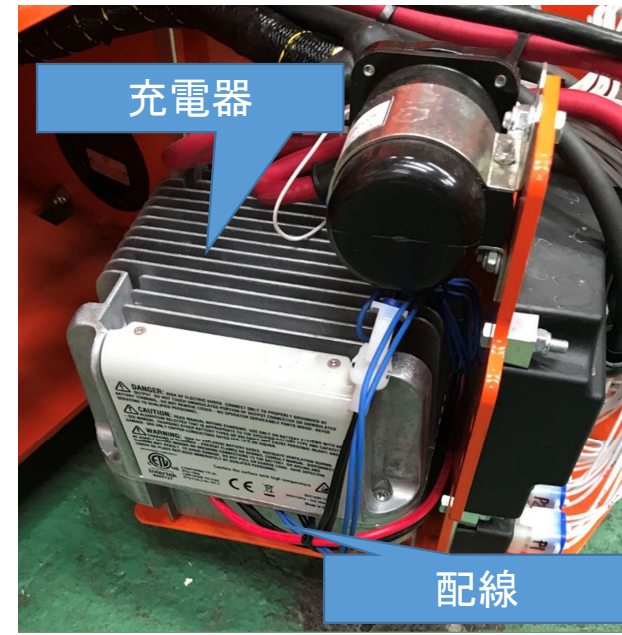
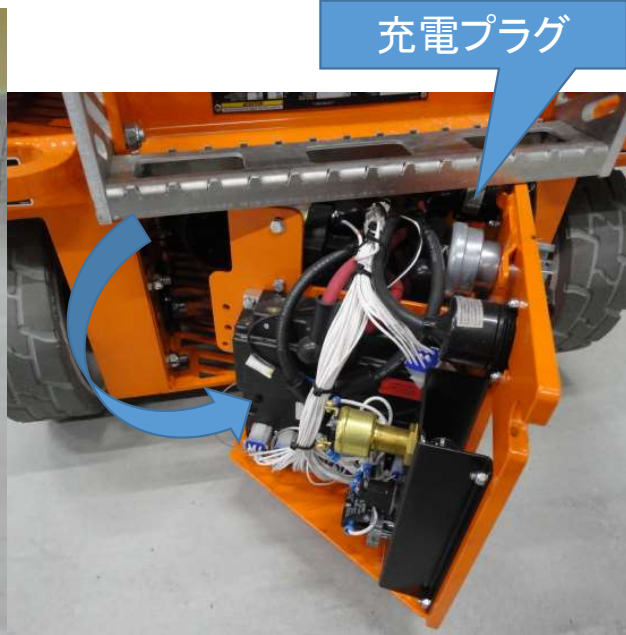
①9 作動油



- ・作動油の量はゲージ内にあるか。
- ・汚れ、漏れはないか。
- ・フィルタ汚れはないか。(年に一度交換推奨)

メンテナンスハッチ内にある。

②0 充電器



後部乗り込み口の下にある。

- ・ボルトを外すと開閉可能です

配線等に異常はないか。
充電器の動作に問題はないか。

動力装置

②1作業床操作盤



- ・盤/機器の汚れ、破損の確認。

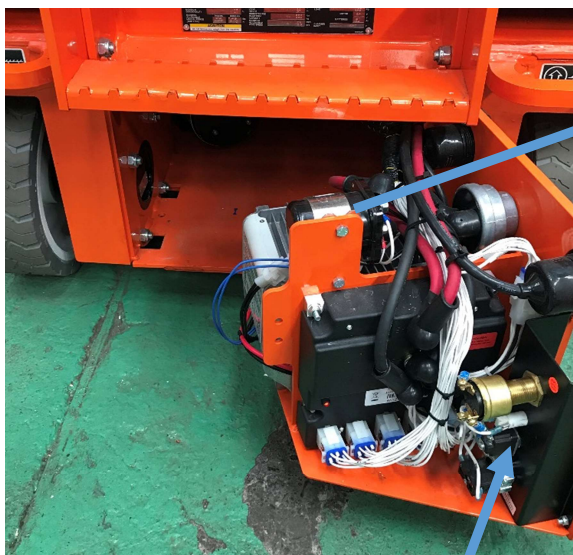


操作・制御装置

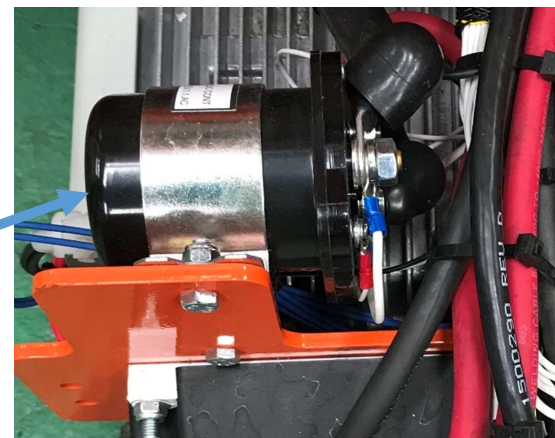
②②車体側操作盤 ②③リレー



・盤/機器の汚れ、破損の確認。



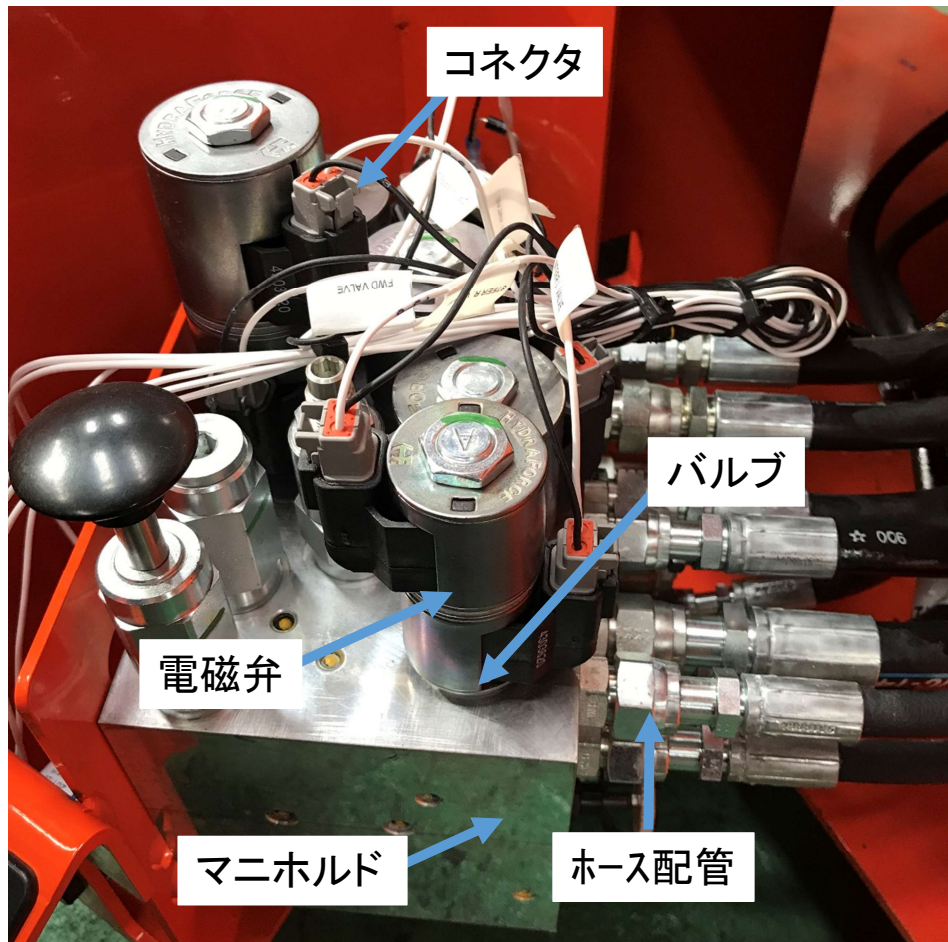
配線とコネクタ



リレー

・配線の取付、緩みや断線等ないか確認。

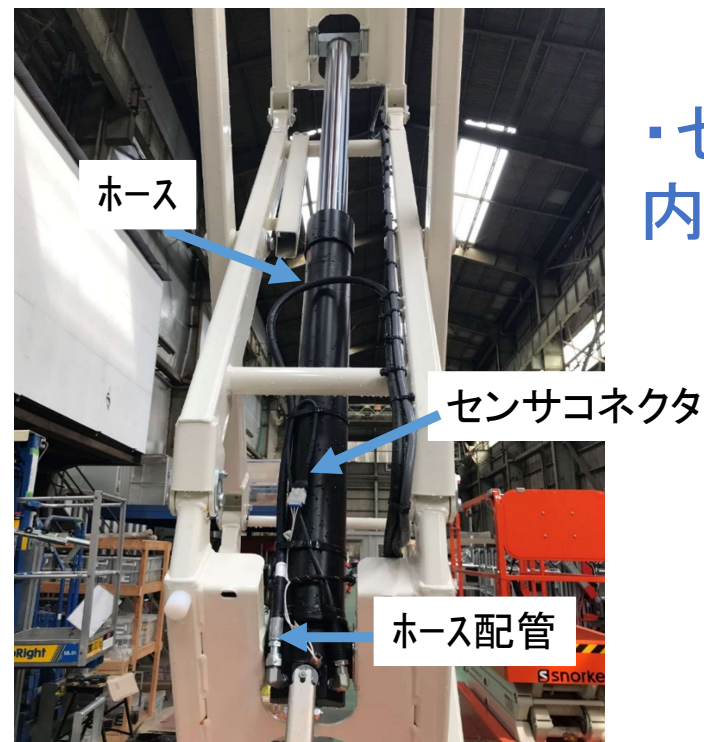
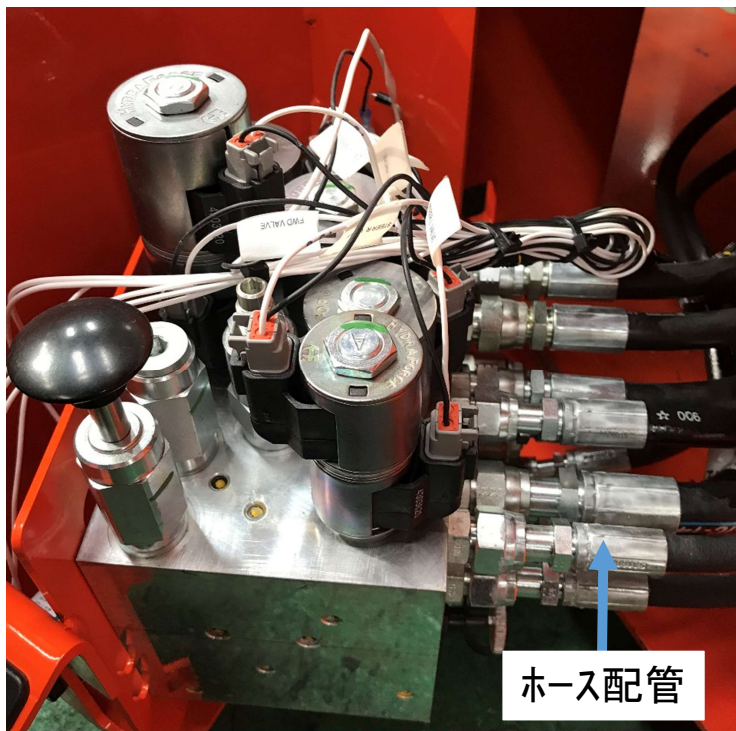
②④油圧マニホルド ②⑤電磁弁



- ・汚れ、油漏れ、コネクタ緩みが無いかな。
- ・各バルブのマニホルドへの取付け部漏れ損傷等確認。
- ・油圧ホース配管のマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認。
- ・電磁弁の端子抜け/緩みの確認。

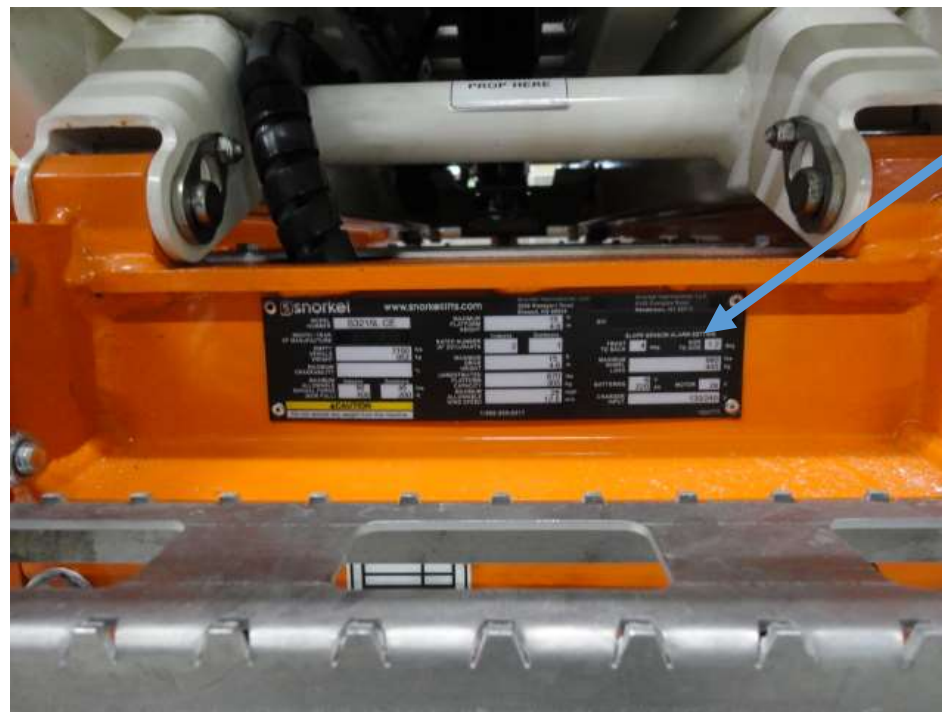
②6配線配管 ②7各種センサ

- ・各部油圧ホース/配管の損傷、油漏れ等はないか。
- ・各部センサ端子に異常はないか。



・センサはシザース内側にもあります。

②8 銘板



銘板

- ・銘板に汚れは無いが、内容は全て読み取ることができるか。

②9傾斜角規制装置 ③0過積載規制装置

傾斜角規制装置

- ・傾斜地やジャッキを使って車体を傾斜させ、
警報が鳴り機体が上昇しない事を確認します。

過積載規制装置

- ・作業床に定格+10%の積載荷重を掛けた状態で
警報が鳴り上昇しない事を確認します。

③1安全弁 ③2走行警報装置

安全弁

※過積載をセンサで検出しないタイプの場合

- ・作業床に最大積載+10%程度の荷重を載せます。
- ・モーターは動作するが、圧力がかからず作業床が上昇しない事を確認します。

走行警報装置

- ・走行時アラームが設定されている機体では、走行操作時に正しく鳴動するか。またホーンが正しく鳴動するか。
- ・走行時アラームが設定されていない機体では、ホーンが正しく鳴動するか。

③③ 非常停止装置 ③④ 緊急降下装置



- ・ボタンを押して動作がしなくなるか。
- ・ボタンを引き出して動作できる状態になるか。

- ・緊急降下装置を操作し、降下ができるか確認。

安全装置作動確認

③5 走行速度規制装置

- ・作業床を上昇させる。
- ・リフトから走行に切り替える。
- ・走行操作を行い、低速にしなければならない事を確認する。



安全装置作動確認

③⑥作業床自然降下

自然降下

- ・下部操作装置にてリフトを上昇させる。
- ・車体にテープ等でマーキングをし、
降下した場合に確認できるようにしておく。
- ・1～2時間程度時間をおいて
降下が無いか確認する。



安全装置作動確認

③⑦上昇 ③⑧降下 ③⑨クッション降下



- ・上昇：上昇操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・降下：降下操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・クッション降下：一番下まで降り切る際に問題はないか。

④⑩高速走行 ④⑪低速走行 ④⑫ブレーキ作動 ④⑬制動

- ・高速走行: 作業床格納状態で高速走行となるか。
- ・低速走行: 作業床上昇状態で低速走行となるか。
- ・ブレーキ作動①: 走行操作入力でブレーキが解除されるか。(引きずる感じはないか)
- ・ブレーキ作動②: 走行操作解除でブレーキは自動的にかかるか。
- ・制動: ブレーキが動作してから車体はすぐに停まるか。



動作確認

④44 操向



- ・走行時にステアリング操作ができるか。
- ・停止時にステアリング操作ができるか。

動作確認

ご不明な点は下記へご連絡ください

エイハン・ジャパン(株)本社
東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F
Tel: 03-5765-6841
Fax: 03-5765-6840

エイハン・ジャパン(株)関西支店
大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3
Tel: 072-650-1950
Fax: 072-650-1951

